



きみの笑顔が
未来をつくる

こもれびと風おい認定こども園にて



大井町 議会だより

第2回定例会 P 2
議会委員会条例案や補正予算案を可決
一般質問 ここが聞きたい P 5
10人が町政を問う！
議会活動報告 P10
先進自治体を視察

町のこの人あの人 P12

世界のお菓子を
親しみやすく伝えたい

上大井地区

せ と ともみ
瀬戸 知美 さん

E-mail gikai@town.oi.kanagawa.jp

URL <https://town.oi.kanagawa.jp/site/gikai/>

この広報は、再生紙を使用しています。

経済支援や環境対策に係る 補正予算を可決

第2回定例会
6月4日～6日

会議内容

一般質問 10人

条例 3件

補正予算 2件

契約 2件

ほか

条例

大井町議会委員会条例
の一部を改正する条例

(賛成全員)

*大井町議会議員定数
条例の改正により、次
の一般選挙から議員定
数が削減されることに
伴い、常任委員会の委
員の定数等を改めるも
の(3ページ参照)

大井町議会の個人情報
の保護に関する条例の
一部を改正する条例

(賛成全員)

*刑法等の一部を改正
する法律の制定により、
懲役及び禁錮が拘禁刑
に一本化されることに
伴い、関係規定の改正
を行うもの

大井町下水道条例の一
部を改正する条例

(賛成全員)

*町の指定事業者にお
ける技術者の専属規制
が緩和されたことなど
により、所要の改正を
行うもの

補正予算

一般会計(第3号)

(賛成全員)

*歳入については、児
童手当負担金、コミュ
ニティ助成事業助成金
などを計上し、歳出は、
使用済み紙おむつ再生
利用事業に係る調査委
託料などを計上するも
の

問 おおい児童コミュ
ニティクラブにおける

備品購入費の内訳は。

答 テーブル4台、椅
子24脚を購入するもの
である。

問 使用済み紙おむつ
再利用事業導入検討調
査委託に係る業者選定
の方法は。

答 プロポーザル方式
により決定する予定。

問 児童手当支給事業
費556万4千円の
支給人数は。

答 高校生534人と
なる。

問 観光振興基本計画
推進協議会委員の構成
と人数は。

答 農業委員、自治会
長、商工振興会、観光
振興を担う民間事業者
副町長で、人数は10名
である。

一般会計(第4号)

(賛成全員)

*歳入については、給
付金・定額減税一体支
援枠分重点支援地方交
付金を計上し、歳出は
当該対象事業の経費を
計上するもの

問 電力・ガス・食料
品高騰支援給付金2億
2900万円の内訳は。

答 住民税均等割非課
税世帯280件、新た
に住民税均等割のみ課
税世帯350件、低所
得者子育て世帯120
件、定額減税調整給付
として4000件であ
る。

問 物価高騰対策支援
事業費における会計年
度任用職員報酬は。

答 高騰支援給付金に
おける手続きのための
職員に係る費用であり、
年内までを予定してい
る。

物品購入契約の締結

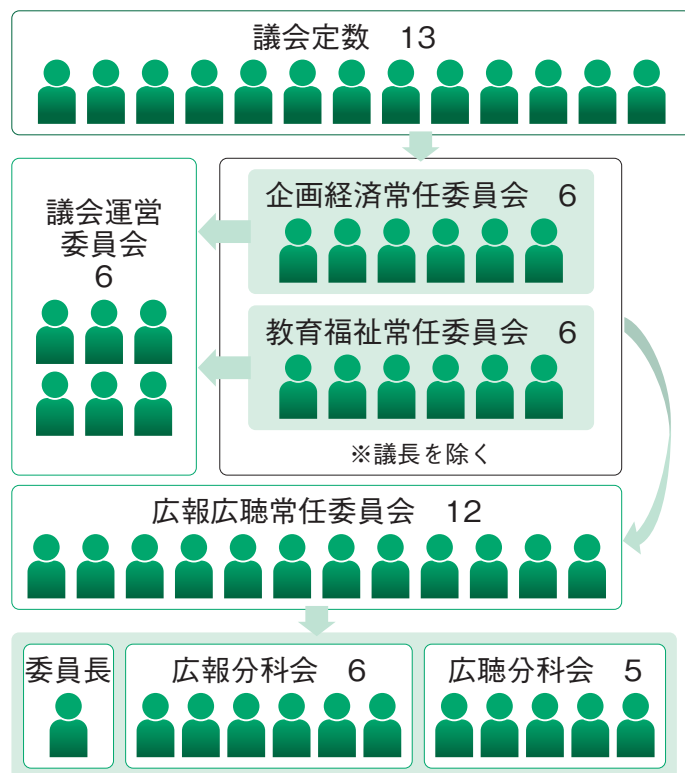
物品購入契約の締結に
ついて(職員用パソコ
ン・モノクロプリンタ
購入) (賛成全員)

*職員用パソコン48台、
モノクロプリンタ20台
の更新をするもの



議会が視察した福岡県の紙おむつリサイクル施設

次の一般選挙後から常任委員会の構成人数が変わる！



議員定数が14から13に削減されることに伴い、大井町議会委員会条例を改正しました。

次の一般選挙後は、常任委員会からそれぞれ1名を削減し、議長はすべての委員会に所属しないこととなります。

*議長は、すべての委員会にオブザーバーとして出席します。



第2回臨時会

4月19日

専決処分の承認

会議内容	
専決処分	3件
補正予算	1件
契約	1件
和解	1件

大井町税条例の一部を改正する条例
(賛成全員)

*法改正に伴い、用途変更宅地等に対する固定資産税の経過措置を令和8年度分まで延長するもの

大井町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
(賛成全員)

*法改正に伴い、後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額の引

き上げと軽減の対象となる所得の基準を見直すもの

問 改正後の限度額を超える世帯及び軽減税率が適用される世帯の内訳は。

答 限度額を超える世帯は8世帯減の24世帯、また5割軽減は2世帯増の247世帯、2割軽減は8世帯増の244世帯と想定している。

令和5年度一般会計補正予算(第11号)
(賛成全員)

*大井町健康増進計画・食育推進計画(第3次)事前調査委託料の明許繰越及び民間保育所整備費補助金の計上誤りに伴うもの

補正予算

一般会計(第2号)
(賛成全員)

*被災地である石川県能登町への中長期派遣職員に係る旅費等を計上するもの

問 中長期派遣職員の人数と期間は。

答 1名で、5月1日から来年の3月31日までの期間となる。

問 派遣職員の活動状況を広報などで周知してはどうか。
答 機会をみて対応したい。

物品購入契約の締結

物品購入契約の締結について(町長車購入)
(賛成11反対1)

*購入後15年を迎えた町長車を更新するもの

問 納期が間に合わない場合は現行車の車検費用を落札業者が負担することとした仕様書には無理があったと思うが。

第2回臨時会・審議議案と結果

答 今回の対応は意見が分かれるところだが、この仕様でも応札した業者があつたため提案するものである。

問 冬場にスタッドレスタイヤに付け替える予定があるのか。また、その対応は。

答 冬場は必要に応じてスタッドレスの着用を考えており、現在使用しているタイヤで対応できる。

和解

訴訟上の和解について
(賛成全員)

*金手駐車場放置車両に係る事務管理費用請求事件について、被告より和解の申し出があつたため、これに応じるもの

審議した議案と審議結果

○は賛成 ×は反対
田村俊二議長は、採決に加わりません。

臨時会・ 定例会の別	議案 番号	議案名	議員名（議席順） と審議結果	大石 舞	黒岩陣 太郎	重田 有紀	和田 紀昭	山崎 真弘	岡田 幸二	鈴木 磯美	田中 正彦	牧野 一仁	清水 亜樹	伊藤奈穂子	清水 豊司	審議 結果
第2回臨時会	42	専決処分の承認について (大井町税条例の一部を改正する条例)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	43	専決処分の承認について (大井町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	44	専決処分の承認について (令和5年度大井町一般会計補正予算（第11号）)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	45	令和6年度大井町一般会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	46	物品購入契約の締結について（町長車購入）		×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	47	訴訟上の和解について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第2回定例会	48	大井町議会委員会条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	49	大井町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	50	大井町下水道条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	51	令和6年度大井町一般会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	52	物品購入契約の締結について (職員用パソコン・モノクロプリンタ購入)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	53	令和6年度大井町一般会計補正予算（第4号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決



委員会運営委員会及び常任委員会の正副委員長は、5月17日（金）、神奈川県神奈川自治会館にて開催された神奈川県町村議会議長会主催の研修に参加した。その内容は、読売新聞特別編集委員 橋本五郎氏による「日本の政治について」をテーマとした講義であつた。

委員長・
副委員長・
事務局長
研修会に参加

ラーメン店を中心とした

観光消費額のアップ策は

答 地場野菜の活用・ひょうたん

ラーメンなど町のPRにもなる



おかだ 幸二 議員

問 大井町の観光課題

は何か。また、どう捉えているのか。

課長 今回、大井町観

光振興基本計画を策定したが、観光消費額が低いという点を課題として捉えている。来訪客からは飲食の場がないとのこと、飲食の提供が鍵となっている。

問 地域の特色として

ラーメン店が多いが、その認識は。また、その活用法はどう考えるか。

課長 農業体験等で来訪した方に広くPRし、

訪した方に広くPRし、



増水時、溢れてしまう大川管渠

【改善が必要な危険箇所への対応について】

問 懸案となっている

大川管渠の溢水対策は進捗が不透明だ。町ができることはないか。

課長 平成25年頃から

JR東海と協議しているが、現在、金子開成和田河原線工事が優先され進展はない。町として増水時の進入防止対策を検討している。

問 通学時、市場踏切

は混雑し、大変危険だが安全対策は。

町長 いくつか課題は

あるが、解決の必要があると考えている。JR東海と協議し対策を進めていく。

幹線道路網の整備は

答 必要性を認識している



くろいわじん 黒岩陣太郎 議員

問 篠窪バイパスから

町道4号線までの県道格上げに向けた考えは。

町長 交通量の調査を

行い、説明会で得られた要望等を考慮しつつ、必要性、可能性をまとめ、県への要望資料として報告書を作成。ここに努めているが、地権

者の要望等を考慮しつつ、

必要性、可能性をまとめ、県への要望資料として報告書を作成。ここに努めているが、地権

者の要望等を考慮しつつ、

必要性、可能性をまとめ、県への要望資料として報告書を作成。ここに努めているが、地権

者の要望等を考慮しつつ、

者の要望等を考慮しつつ、



開通予定の集落間道路（町道501号線）

者等の協力がなければ、事業を推進できない。

問 相和地区の集落間道路の整備は。

町長 平成28年3月に策定した大井都市マスタープランでの土地施設等の整備方針では、集落間道路地区幹線道路として位置づけている。現在着実に進捗している都市計画道路金子開成和田河原線の早期開通、また社会情勢を的確に判断し事業実施に向けて慎重に進めていく。

【御殿場線上大井駅舎に対する調査状況と今後の対応は】

問 駅舎に対する今後の展望は。

課長 今年度、耐震診断を行い、どのような建物かを確認し、その利活用については来年度予算に入られるようなペースで進めていきたい。

今年度、耐震診断を行い、どのような建物かを確認し、その利活用については来年度予算に入られるようなペースで進めていきたい。

今年度、耐震診断を行い、どのような建物かを確認し、その利活用については来年度予算に入られるようなペースで進めていきたい。

今年度、耐震診断を行い、どのような建物かを確認し、その利活用については来年度予算に入られるようなペースで進めていきたい。

今年度、耐震診断を行い、どのような建物かを確認し、その利活用については来年度予算に入られるようなペースで進めていきたい。

農産加工所の今後のあり方は

答 ニーズに沿った施設のあり方について検討を進める



鈴木 磯美 議員

防災組織に確認していただき、防災無線で報告をしていただく。

問 各避難所の水・電気の備蓄状況は。

町長 各避難所に貯水槽が設置されており、防災備蓄倉庫にも飲料水を保有している。電気については、発電機と非常用電源の改修、燃料の確保で対応が可能。

問 避難所の開設に関する町の考えは。

町長 職員により、現地の状況、安全等を確認した上で開設する。

問 旧いこの村にある防災倉庫の移設予定は。

町長 ラ・レイエス湖南に承諾を得ており、将来的に災害協定締結を視野に移設は考えていない。

問 災害ごみに対する町の考えは。

町長 「大井町災害廃棄物処理計画」を今年度中に策定する予定。

今後の住宅耐震対策の取組みは

答 補助金の上限や割合を見直す予定



和田 紀昭 議員

問 今後の住宅耐震対策の取組みは。また、低所得者向けの対策は。

課長 補助金の上限や割合を見直す予定。低所得者向けの検討もしていきたい。

問 住宅耐震化率95%の目標を達成するためにはどのように推進していくのか。

課長 診断費用をできるだけ手厚く補助できるようにしたい。また、低コスト工法の周知などもしていく。

問 地震発生時に町民が確実に情報を入手できるようにどのような体制を取っているか。

町長 防災行政無線の補完で安心メール、ホームページやSNS、車による広報を行う。

問 高齢者や障がい者など移動困難な方への避難配慮は。

町長 避難行動要支援者登録制度個別計画に基づき支援する。さらに避難行動要支援者システムの導入により計画の見直しを行っている。



大井町の指定避難所

問 物資運搬計画等を視野に入れた訓練を実施する考えは。

町長 昨年10月に一部の自治会に対して訓練を実施した。今後ご協力をいただける自治会を増やしつつ訓練を継続していきたい。

問 災害停電時、下水のマンホールポンプが作動しないときの対応は。

課長 外部電源を使ったり、それが不可能であれば、し尿を汲み取りで行っていく。

郷土資料館のトイレを

改修すべきでは

答 何らかの対応はしていく



伊藤奈穂子 議員

問 おおいゆめの里整備に向けた具体的なスケジュールは。

課長 まずは法整備について県と協議を進めていく。

問 今後、飲食店やカフェ等、民間のノウハウを視野に進めるとあるが見込みは。

課長 提案という形で民間事業者からの声はあるが、広く参入意向調査をして慎重に検討する必要がある。

問 郷土資料館のトイレは和式で一つしかない使用づらいので早急



農機具展示中 見に来る人は？

に改修すべきでは。

課長 施設整備するかは別の話だが何らかの対応はしていく。

問 農ある暮らしの中心だけではなく移住した

い人が空き家バンクを活用できないか。

課長 今年度、空き家調査をし全体を把握するために動いている。

【がん対策について】

問 子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種世代への周知は。

町長 5月に未接種者に勧奨通知を発送した。広報7月号においても改めて周知する。

問 30歳～60歳を対象にHPV検診を導入する考えは。

町長 1市5町で足並みをそろえた上で足柄上医師会と連携及び調整を図りながら導入について検討を進める。

【合理的配慮の取組みについて】

問 庁舎等の窓口で軟骨伝導イヤホンを早期に導入する考えは。

課長 現状を聞き取りながら対応を進めていく。

ファミリーシップ制度導入は

答 導入に向けて取り組む



重田 有紀 議員

問 人権施策を推進する根拠は。

課長 総合計画や男女共同参画プランである。

問 パートナリシップ宣誓制度の登録者数が少ないが。

課長 ファミリーシップ制度導入の考えは。

課長 足柄上地区パートナーシップ制度連絡協議会で今年度の共通課題とし、導入に向け取り組む予定である。

【おおい児童コミュニティクラブ入所保留児について】

問 入所保留が生じた理由は。

課長 申込が定数を超えたため。

問 保留児の対応は。

課長 かみおおいコミに通所している。

問 入所保留をいつ伝えたか。

課長 3月19日である。

問 なぜ入所日直近の通知になったか。

課長 従来通り進めたため。

問 手続きの時期を早めるべきでは。

課長 年内には行う。

問 一連の事情を説明会で周知するべきでは。

課長 働く保護者に集まってもらうことは難しい。

問 おおいコミの定数増により、保留児は元のコミに戻るのか。

課長 準備中である。

問 施設拡充の検討が総合計画に明記されているが見解は。

町長 前向き、発展的な思考で検討する。

LGBTQ+

性的少数者の象徴「レインボーフラッグ」

「**おいしい児童コミュニティクラブの
今後の施設のあり方は**」

答 大規模改修・増改築・施設移転
などの抜本的な対策を検討



しみず あき
清水 亜樹 議員

問 今年度定員を超える利用者となり、また建築から56年が経過する、おいしい児童コミュニティクラブの今後の施設のあり方は。

問 公共施設個別施設計画では、既に更新となっている。これまでに更新を検討してこなかったのか。

町長 施設規模や老朽化が課題と認識している。施設の大規模改修、増改築、施設移転などの抜本的な対策を含めた検討が必要だが、今後の利用者推計などを踏まえ施設のあり方、方向性を示していく。



おいしい児童
コミュニティクラブ

課長 これまで更新という形ではなく長寿命化を図ってきた。

問 施設のあり方について早速に検討すべきと考えるが。

町長 手遅れのような状況となっている。すぐに検討を始めて実施に向けて取組みを進めていく。

「アクティブ85プラン」

問 在宅で介護をしている家族に対して紙おむつ支給など補助をしていく考えは。

課長 今後、周辺市町等も確認しながら研究していく。

問 安心・安全な住環境の整備としての町営住宅の入居要件の緩和は。

町長 高齢者が単身で入居できるよう検討していく。

「**行政の説明責任、町民の知る権利
尊重のため、情報公開条例の改正は**」

答 必要性を適宜検証していく



おおいし まい
大石 舞 議員

問 情報公開条例において、公文書の規定を「決裁または供覧等の手続きが終了したもの」と定めているのは、

課長 制度も年数が経過しており、改正の必要は適宜検証したい。

問 情報公開請求の対象は、本町は基本的に町民等に限定しているが、今までに町外からの請求もあったのか。

課長 令和4年度は6件ほどあった。

問 町民の知る権利を尊重するという、条例の目的に沿った文章に改正すべきでは。

課長 運用上は担当職員も同席し、丁寧なヒアリング等を通じて文書の特定を行っている。特に問題意識は持っていない。

課長 5町で足並みを揃えられれば、改正していきたい。

問 幼稚園・学校のあり方は、結論が出るまでのプロセスに町民が参加できる方法を模索してほしい。教育委員会での議論は非公開だが、情報公開請求した場合公開されるのか。

課長 情報公開条例に基づいて判断を行う。

問 どういうテーマでどう議論したかぐらいは、公開すべきでは。

課長 非公開によるフラットな意見交換も必要。協働の視点も配慮して対応する。

問 保育の利用基準をホームページや文書で公表・配布しては。

課長 前向きに検討したい。



情報公開は、協働のまちづくりの要

人口減少が進むなか
公共施設の老朽化への対応は

答 計画的に大規模改修を行う



清水 豊司 議員

問 孤独や孤立の解消に向けた取組みは。
町長 高齢者や支援の必要とする方が安心して暮らせるよう、民生委員児童委員、社会福祉協議会をはじめとする関係機関や団体と連携しながら、地域全体で見守り、支えあう体制を推進する。特に高齢者等が地域で孤立しないよう居場所づくりを支援していく。

問 公共施設の老朽化への対応と後年度負担への考えは。
町長 公共施設の保全には、耐用年数を迎える前に、計画的に「大規模改修」を行うことによる「長寿命化」が理想とされている。そのためには十分な調査とそれを基にした改修計画が必要。特に調査においては一度に全体の把握により経費の軽減、施設全体の劣化度の把握から改修の優先順位を定められ、発注の平準化により後年度負担の軽減が可能。

問 耕作地の維持管理の考え方は。

町長 10年後の地域農業のあり方の目標などを定める「地域計画」の策定が義務付けられ、本町全域の「地域計画」を来年3月までに作成する。計画の実効性の確保として「夢のおいファーマー制度」や「認定新規就農者制度」の推進や「足柄大井農園」との連携、更には農業への企業誘致を含め、高齢化と次の担い手がいない農業生産者に代わる、新たな担い手の確保を最優先に進める。



大規模改修が予定されている総合体育館

区域施策編を
別建てとしなかったのはなぜか

答 努力義務であり



牧野 一仁 議員

国も一本化を推奨

問 今年3月に策定された「大井町地球温暖化対策実行計画」に区域施策編を別建てとしなかったのはなぜか。
町長 国においても、事務事業編と区域施策編の一体的な推進として、両者を一本化することを推奨していることから、令和5年度に事務事業編を改定するとともに、区域施策編、気候変動適応計画の内容を新規に追加すること、これらが一体となった計画を作成した。

問 環境基本条例、環境基本計画との整合性はできているのか。
町長 国の地球温暖化対策の推進に関する法律、気候変動適応法や本町の上位関連計画との整合を図り策定した。今後継続して二酸化炭素排出量の調査を行うのか。

町長 毎年更新される統計データを活用して、計画策定委託において構築した算定ソフトにより、温室効果ガス排出量を算定していく。



問 気候変動の影響による被害の回避・軽減対策に取り組むとあるが、具体的には。
町長 地球温暖化の進行がもたらす気候変動等により懸念される影響は、温室効果ガスの排出抑制を図る緩和策を最大限実施しても完全に避けることはできず、この影響に対して備えるための適応策を計画的に進めることが必要であり、その取り組みを進めている。

議会では、5月8日から3日間にわたり、北海道栗山町と登別市を訪問した。

北海道 夕張郡 栗山町

住民に開かれた議会への取組みについて

栗山町は、昭和41年に全国町村会より優良町として表彰を受けており、平成18年には栗山町議会基本条例を制

先進自治体を視察

北海道 登別市

議会ICTの推進について

登別市では、若年層や政治未経験者、女性など幅広い議員が活躍できる「多様性のある議会の実現」を進めている。また、議会改革はIT推進からの方針により、平成12年からIT推進に関する小委員会を設置。平成14年度からは例規集を

定。平成25年には自治基本条例を制定している。また、栗山町では、町議会の運営等に関し、町民から意見を聴取し、議会の運営に反映させ、円滑な民主的運営を推進することを目的として、議会モニター制度を導入をしている。ほかでは行っていない取り組みとしては、議員のなり手不足に対応した「議員の学校」という

事業が特に興味深かった。参加者19名のうち、3名が選挙に立候補し、全員当選という実績に繋がっていた。



黒岩 陣太郎

CD化し、議員に対する議場持込用のパソコンの貸与や委員会のオンライン開催などの取り組みを進めてきた。結果として、民間による議会改革度調査で2年連続全国1位となっている。

最終日は、国により整備された白老町の民族共生象徴空間ウポポイを視察した。多様性が受容される社会の実現について、深く考え



3日間の視察の成果を今後の議会改革へ繋いでいきたい。

ぎかいCafeを開催



～町民との対話を求めて～

にわたり多くの貴重なご意見を頂きました。

参加された皆さまのご意見は議会活動や各議員の活動の参考にするともに、ご意見をまとめ、町へ報告書として提出させて頂きたいと考えております。

「議員と直接対話できるのは貴重である」など、ご好評頂いたことを踏まえて、開催場所や開催時期などを検討し、更なる広聴活動に努めてまいります。

広報広聴常任委員会、広聴分科会では、

加くございました。

議会を身近に感じて

能登半島地震の影響

いただけるよう、気軽に話ができる機会

もあり、防災について

として、昨年に引き続き、町生涯学習セ

ンターホワイエにて

「ぎかいCafe」を開催いたしました。

今年、会場を生

涯学習センターのほか、ヤオマサあしが

らモール店のご協力

のもと、その一角を

お借りして、6月18

日から20日の3日間

の日程で開催し、期

間中に33名の方が参

加いただきました。



議会を傍聴して



新採用職員10名が職員研修の一環として、第2回定例会を傍聴しました。ここでは、紙面の都合により令和6年4月1日採用職員の感想を掲載します。傍聴の機会を通じて、地方自治への理解が深まることに期待します。

福祉課

戸口 卓哉

新採用職員研修の一環で、第2回定例会を傍聴させていただきました。

一般質問において特に印象に残っている質問は、児童コミュニケーションクラブでの入所保留についてです。具体的な経緯や、今後起きないための対策について議員と町側で質疑応答がなされていました。そのやり取りの中で、議員から今回の問題は子どもが犠牲者になっているという発言や、入所保留を出さないために考えられた提案がありました。議会は、行政の施策について、町民の意見や思いを受け取った議員が質問という形でチェックし、そしてより良い方向に見直していく場だと感じました。

私にとって今回の議会傍聴は、今後も町の職員として働く上で、とても貴重な経験となりました。

子育て健康課

佐藤 美月

第2回定例会を傍聴して、議会の流れや自分では気づかないような町内の問題について学ぶことができました。

議員派遣報告では、他の自治体の取り組みを知る機会となりました。なかでも、議会中継の事例では、住民がより行政に関わるきっかけとなるものであり、議場に行くことができない町民だけでなく、学生等の若い世代であっても議会を傍聴することのできる手段になると感じました。

一般質問では、テーマは同じでも詳細な質問の内容は様々で、町の様子や行政の細かいところまで注目されていることを知りました。

今回の議会傍聴を通じ、私自身も日ごろから情報を収集し、町民の方々からの質問にしっかりと対応できるよう努めてまいります。

地域振興課

天野 文香

新採用職員研修の一環として、大井町議会第2回定例会の2日目を傍聴させていただきました。

質問と答弁が白熱する場面もあり、議員の方々と町長の熱量を直に感じることで、貴重な経験となりました。

日ごろ自身が携わっている業務の内容も議題に上っており、日々の業務の一つが大井町の一端を担っていると実感しました。また、他の課の取組みを知る良い機会となりました。役場の担当者間で話し合うだけでなく、このような場を設けることで、新たな視点を取り入れて検討すること、もできるのだ、より良い町づくりのために重要な場であると感じました。今後は、自分の専門分野にとどまらず、幅広い視野を持つて業務に取り組んでいけるよう努めます。

教育総務課

小宮 萌

新採用職員研修として、大井町議会第2回定例会の1日目を傍聴させて頂きました。初めて

議会を傍聴させて頂き、議員の皆様が真剣に討論を行い、意見を明確に示していたことが印象的でした。特に、災害対策におけるPDCAサイクルの重要性についての指摘が印象に残りました。実際に取り組むことで新たな気づきが得られ、次に繋がる内容であり、仕事をを行う上でも大切な考えであると感じました。また、議会傍聴を通じて、地域社会の高齢化や気候変動等により、地域の課題は、より複雑になっていることを感じました。そのため、各課の連携だけでなく近隣市町、各団体や民間企業との連携が大切であると思いました。本研修で得た多くの学びを今後の業務に活かしていきたいです。

生涯学習課

岡 智成

今回の議会傍聴で感じたことは、今まで考えていたよりも、議会に出席しているすべての方が

熱意にあふれ、思いをぶつける白熱した場であるということ。私はまだ入庁わずか、町について詳しく知らず、仕事にも不慣れです。このような中、議会の一般質問の場を傍聴することで、大井町が直面している課題や改善していかなければならないことを学びました。また、言葉遣いや立ち振る舞いといった、社会人としてのマナーも学ぶことができました。

この傍聴により、町職員としてさらに一歩成長することができました。今後はより一層気を引き締めて業務に励み、大井町がより良い町となるよう精一杯努めてまいります。

町のこの人あの人

世界のお菓子を親しみやすく伝えたい



上大井地区
瀬戸ともみ さん

曾我郵便局の近くで、2016年から『焼菓子舗nook（やきがしほヌック）』というお菓子屋さんを営む、瀬戸知美さんをご紹介します。

▼箱根町出身で、短大進学と同時に上京し、卒業後は大手旅行会社に勤務されました。小田原支店や本社、東京での店長を経てキャリアを重ねてきましたが、組織や業務内容に疑問を感じ、40歳で退職を決意。恵比寿の料理教室に通われていた時にアメリカのサンフランシスコ郊外、ナパヴァ

レーにある料理学校への短期留学経験から、料理の道を志します。▼結婚を機に大井町に越してから、13年経ちました。自由が丘の洋菓子教室に通い、47歳でディプロマを取得。現在はご主人が営む瀬戸材木店の片隅（nook）を、店舗に改装して営業されています。店舗デザインはこれまでの渡航経験から、ヨーロッパの小さな村にあるお菓子屋さんをイメージしています。



オーダーケーキも人気です

●「お菓子を通じてコミュニケーションが生まれ、子どもにとっての『高級駄菓子屋』さんとして、帰りにおしゃべりに立ち寄れるような場所になれたら」と笑顔で答えて頂きました。

▼お店は週末のみの開店で、休業の日もあります。誕生日やクリスマスケーキは、自分好みのケーキを旬の果物等と合わせて、相談しながら作ってもらうのが楽しいです。看板猫のマドレーヌくんは、SNSで写真や動画を見られます。

議会だよりへの意見募集

大井町議会では、町政及び議会の情報を皆様にお伝えするため、「議会だより」を年4回発行しております。より分かりやすい広報紙とするため、町民の皆様の声をお聞かせください。応募は、電子メール（gikai@town.oi.kanagawa.jp）、郵送、持参、FAXのいずれかでお願いします。様式は任意で結構です。

町政を知る良い機会です 議会傍聴にお越しください！

第3回定例会開催
8月20日（火）午前9時
問合せ先：議会事務局
☎85-5000 FAX 83-3936

編集後記

新年度を迎え、初めての定例会が開催されました。10人が一般質問を行い、条例や補正予算の審議を行いました。一般質問の内容は、防災や商業、福祉や人口減少など多岐に渡り、町政や町長の姿勢を質しました。

今回の表紙写真は、こもれびと風おおい認定こども園様にご協力いただきました。感謝申し上げます。議員の任期も残すところ僅か。映像配信の調査研究をはじめ、より開かれた議会づくりのため、最後まで一丸となって邁進いたします。

大石 舞

広報広聴常任委員会

（広報分科会）

委員長 清水 亜樹
副委員長 大石 舞
委員 伊藤奈穂子
委員 岡田 幸二
委員 山崎 真弘
委員 和田 紀昭
委員 黒岩陣太郎